



対岸にヨーロッパ最大のザポリージャ原子力発電所
(ロシア領)



向こう岸に原発が見える湖岸で漁の生計を立てている人口約3千人の村である。目的はダム問題と、
カ Vyschetarsivka 村に向かった。

村の人口も3分の一は移転した。
砂防ダム checkdam 決壊、ダム放流が原因で水没被害の例は日本でも多い。しかし、ダム上流の枯渇で人々が生活できなくなるケースははじめて遭遇した。

おびただしい魚の死骸はダム破壊により水が干上がったせいなのか、それとも放射能汚染水の放流によるのか確かめたく日本から 8000キロメートルを渡河した。残念なことにロシア側が統治している原発側に近寄れないため、水棲生物の死骸と放流との関係は突き止めることはできなかつた。洪水で下流では数百万トンの作物が損失。14人が死亡し、80の村の数

2 1 "Uman" July 10, 2023 p.4-5
「カヨ子基金」第5次ウクライナ訪問報告。



ビショエエタルシフカ村のアレキサンダー村長はドローンで被害を受けた村のコミュニティホールに案内。6月18日撮影。

【発行人】 岩村義雄 (携帯 070-5045-7127)
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区御幸台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿部とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
【熊本支部】 大島健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支部】 嶋田博信
〒294-0234 千葉県館山市布良303
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年会員 1,600円)



ウクライナのザポリージャ訪問

▼第5次ウクライナボランティア 報告

6月11日～24日、ポーランド国 ワルシャワ経由で、ウクライナ国 キーウ(キエフ)、ブチャ、イルピンなどを訪問。キーウ(キエフ)からバスで7時間、カホフカダム ダム(高さ30m、長さ3.2km)が決壊による被害現場ザポリージャ市を訪問。さらにザポリージャ市 約50キロ南のビショエタルシフカ Vyschetarsivka 村に向かった。

向こう岸に原発が見える湖岸で漁の生計を立てている人口約3千人の村である。目的はダム問題と、カホフカ貯水池(2155km³)琵琶湖(670.4km³)の。ドニエプロ川、貯水池は干上がっていた。アレキサンダー村長(60歳)が一匹も魚がとれなくなつたと窮状を訴えた。

どんなに技術が発達しても、原発、ダム、河川土木工事がもたらした悪について、人間は誇ることはできない。人類に貢献するどころか自然生態の破壊の元凶になっている。

原発問題の考究である。

多くの水鳥の繁殖地も失われた。浅瀬には生育する藍藻類も絶滅している。今、私たちに突きつけられている問題はロシア・ウクライナ戦争のせいだと言いたれるだろうか。

ヤマザキ

世界のパン
ヤマザキ

Otsuka

株式会社大塚製薬工場

〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151 (代表)

MIYOSHI

ミヨシ石鹼株式会社

〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1



夫婦

佐賀県大町町にお住まいの今村佳代子さん。独居でいらっしやるだけに、六角川の氾濫によつて2回すんでのところで助かつた。近所の飼い犬はすべて死んだ。抱っこされているチャマだけが生き残つた。7月10日も避難の用意をなさつていた。大町町の女性にとり水害はトラウマになつてゐる。

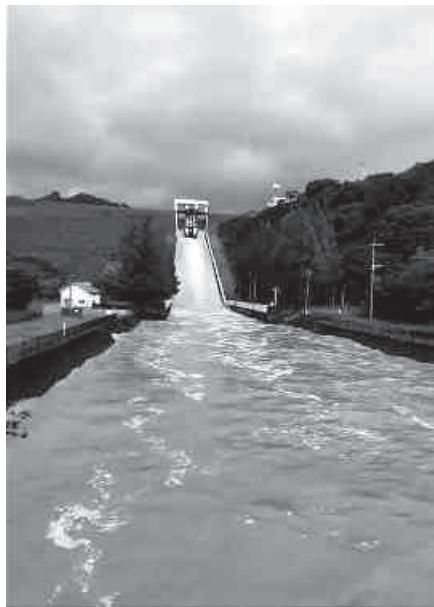
第40次球磨川水害ボランティア

熊本支部長

大島健二郎

▼防災とは自助に頼れと言わんばかり

第40次球磨川（熊本豪雨）ボランティア（2023年7月8～12日）に参加した。2020年7月4日、球磨川（熊本豪雨）が市房ダムの放流によつて、熊本県人吉市は7㍍を超すドロで街全体が覆われた。関連死を



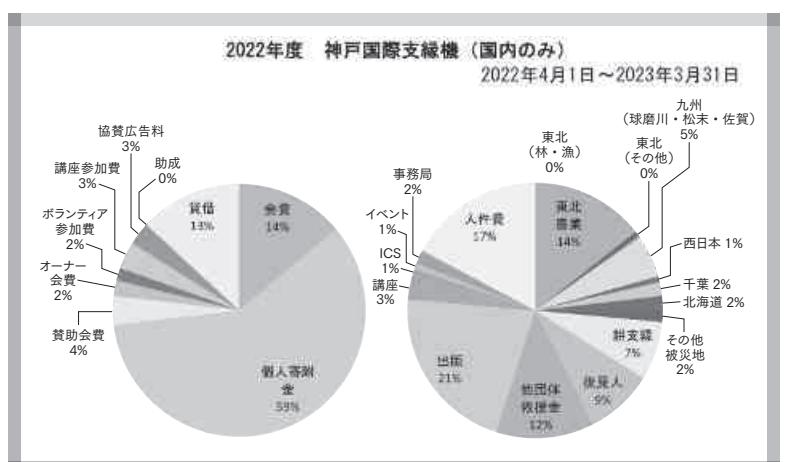
寺内ダム放流（福岡県朝倉市） 2023年7月10日



久留米市善導寺町 2023年7月10日



福岡県久留米市北野町 2023年7月10日



趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。
本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替 口座 00900-8-58077 加入者名 一般社団法人 神戸国際支線機構

・三菱UFJ銀行 462(三宮支店) 普通 3169863
神戸国際支線機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

人によし、社会によし、未来によし。
 ミヨシ油脂株式会社
〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
<http://www.miyoshi-yushi.co.jp>



『牡鹿新聞』(2023年5月19日付)

『石巻日日新聞』
(2023年5月17日付)

第142次東北ボランティア トロトロ層づくり、田植え

2023年4月14日～17日 代表 村上裕隆

雨天の神戸を発ち、東北ボランティアに向かった。何もたいしたことはできていなかった。宮城県石巻市渡波は142回目となる。稲刈り跡の田起の後、長浜幼稚園の園児たちと恒例のトロトロ層づくりと田植えである。東日本大震災後、12回目に

なる。年長組40名が走り回って、柔らかい素足で土を一層軟らかくする。するとイトミミズが生息するようになる。

化学肥料、農薬なしにおい

しい「復幸米」ができる。

北村恭男兄も常連ですから、自発的に動いてくださる。地元の方たちも差し入れをくださったり、園児たちの田植えを見学に来られていた。取材した東北テレビも夕方報道した。

自然と親しみ、子どもたちは見つける。ゲンゴロウ、オケラ、馬ビルなどがいるのも無農薬、有機の田んぼの特徴である。

をよみがえらせたい。

神戸から土をいじりに参加。※「時」の部首つくり「寺」は「手足を働かせる」が語源。

なつめ保育園も園児たちと3回目のトロトロ層づくり、田植えである。自然の中でのびのびとはしゃぐ。「遊び」心も大人になる前に体験する良い「時」である。

英國からのシャクルトン先生はじめ7人が

配している。人間が世話をしなくなってしまった。ウ

クライナの地獄を「平和」

にするには、稲の自産自消

をよみがえらせたい。

清経から数えて第3代目を盛重という。

二十七日没ス遺言シテ記四郎ヲ椎原三郎ヲ久連

子兵部ヲ葉木ニ還ス」とあるので、幼い頃から病弱で、西暦1246年に亡

くなったが、3人の息子をそれぞれ3つの集落に配置した。すなわち記四郎を椎原に三郎を久連子に、兵部を葉

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であったと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

第4代目の盛行については「盛行・緒方記四郎ト称ス

年三月十三日ニ当ル」正月十八日 白鳥山ヲ出テ椎原ニ還ル從是始メ民ニ稼穀ヲ教ヘ工事ヲ教ユ同八十七

年十月歿ス

4代目になると五家荘の生活にも慣れ、盛行は一旦

先祖が住み着いた白鳥山に戻つてみたが椎原が住み易

かつたのである。文治85年(1170年)と記録があるが、白鳥山から椎原に還つている。このときには

高梁(たかぎ)、あわ、ひえの種を手に入れ、焼畑農

法を体系的に地域に広めたものと思われる。自給自足

体制を整えて五家荘での生活を軌道に乗せたのである。

盛行は椎原に戻つて2年後には亡くなっているが、何

歳であつたかは不明である。

なお、遊行の兄弟たちについての記述がある。

近盛・三郎ト称ス 力アリ拳ヲ以テ石ヲ碎ク

近盛・盛數・刑部丞

實明・阿波國源内ト云ウ處ニ還ルト云フ

弟の近盛は白鳥山から久連子に帰つて住んだが、大

変な力持ちであり拳で岩を碎くほどであったという。

また、實明は葉木に帰つたが、その後阿波の国(徳

島県)の源内といふところに行つたそうである。

(阿波国)の源内について調べたが、徳島にはそのよう

な地名は見られなかつた。だが、祖谷渓は阿波の国に

属し、五家荘に劣らず人跡まばらな深山であり、平家の

落人伝説で有名である。このシリーズの第4回で述べたとおり、清経も一度はそこにいったことがある

五家荘の伝説で伝えられている。それゆえ、實明が阿

波の国に赴いた事実が推察される。

このようにして「五家荘」に住み着いた平氏の子孫は、

椎原、久連子、葉木に分かれて住むこととなり、先住者

の菅原道真の子孫である左座氏のふたつの集落(概木、仁田尾)と合わせて5個の集落を形成したのである。

このようにして、壇ノ浦の戦いから100年ほど経過し

て五家荘の5つの村が確定し、五家荘の地名が確立し

今日の日本、農家の跡継ぎがない。「稻」を作ら

なくなっている。瑞穂の国

忘れている。「和」は「の

ぎへん=稻十口」から成り立つていて。凹凸がない平

らな水田にトラクター、コンバイン、田植機などが支

持つて

いる。

医療

環境

は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目を盛重とい

う。

「幼少ヨリ多病回復ノ謀リ無

文治六年正月

木に住むように遺言したと記されている。当時の衛生・

治療環境は粗悪な事であつたと推察され、伝染病が入る

と次々に感染が拡大したであろう。また治療法にても

山中で採取できる草根木皮等を主にした民間療法に頼

るしかなかつたのである。従つて感染症にかかり、ある

いは病弱者などは短命であった事は当然である。

清経から数えて第3代目



事務局便り

新理事長 本田寿久

ダム安全神話から脱却できない日本

日本の権力者は、天災だから不可抗力なんだ、あきらめなさい、と持ち込んでいるのではと、勘ぐってしまう。諦観のエースを刷り込むために用いるひとつの弁法に、「激甚災害」、「線状降水帯」、「〇〇前線」という表現が乱舞する。安全神話の典型であった原子力発電所が真っ赤な偽りであったことを私たちは教訓を学んだだろうか。今、また福島県沿岸に放射能汚染水の放流がまかり通っている。「国際原子力機関」(International Atomic Energy Agency IAEA)、EU や韓国の指導者たちも是認するようになった。フクシマの地元の人たちですら安全でないと叫ぶ食品を世界は購入するという。

九州から神戸に戻って、今度は北陸、東北地方も梅雨前線で市街地が冠水、土砂崩れ、河川氾濫の見出しが新聞に踊る。氾濫した河川の上流にどんなダムがあるかをすぐに確認すればよい。ダム放流について見出すだろう。2018年7月7日、岡山県倉敷市真備町箭田の洪水発生と同時に第二福田小学校に炊き出しに訪問。6メートルを超える水害のため死者59人、行方不明8人の犠牲者がいた。海岸から10キロ以上離れた内陸での洪水である。河岸の堤防決壊にしてはおかしい。上流の成羽川ダム¹に松本真祐さんと一緒訪問し、ダム事務所長から放流の事実を確認した。瀬戸内工業地域に必要な工場用水のためにあるダムの放流により途中の高梁川流域でも家が流され、犠牲者が出

ていた。同年、9月、岩村代表はレバノンから北海道に直行した。マグニチュード6.7 死者42名²、負傷者762人が出た。「苦東」は北海道苫小牧東部に位置する日本最大の工業基地である。工場用水用に建設された厚真ダムがある。日本の経済成長、発展のためにはダムは欠かせない存在なのだ。現場に行き、目撃したのは地震ではなく、厚真ダムからの放流によるおびただしい流木が北海道厚真川地区〔厚真町・安平町・むかわ町〕を襲っていた。



ダムを海外のようにつくらないようにすることは言うまでもない。河川工法も見直さなければならない。住宅地を守るために川をゆっくり流れさせる防災の視座を政・官・財・学・メディアは覚醒してもらいたい。コンクリート工法で河岸、底を固めず、古来からの石積みならば水の流速を落とす効果があろう。水をやりすごすようにすることを提言したい。すると水棲生物も蘇生し、郷土も復興するだろう。「田・山・湾の復活」である。都会から若者たちが戻り、少子化対策にもつながろう。子々孫々に美しい田舎の風景を残すことにも繋がることを願う。

1 「キリスト教と災害」(2)「災害」から「復興」へ』『クリスチヤントゥデイ』(2020年4月22日付)
2 2018年9月6日(水)3時7分、マグニチュード6.7 厚真地震(死者42名、負傷者762人)「苦東」は北海道苫小牧東部に位置する日本最大の工業基地の工場用水のために厚真ダムがある。日本の経済成長、発展のためにはダムは欠かせない存在なのだ。「技術至上主義は自然災害をもたらす—第1次北海道地震ボランティア報告書」<http://kicc.sub.jp/wp-content/uploads/2017/08/6fd475dd9fe0c47708cfde21a50a5d6.pdf>

救援金、維持会費ご協力を感謝します。(敬称略)

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、佐々木美和、野田健二(5)、「小さくされた人々のための福音」講座、藤田希、西本洋子、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、福地弥寿子、西上千栄子(2)、岩本久吉&眞子(福岡県松末)(2)、山下寛&弘美、杉本佑一(3)、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、富ひろみ、有田貞一&美榮子(3)、中央聖書神学校、村上安世、山本裕子、高木保、黒川富秋、能城一郎、神戸新聞文化センター、磯辺基博、八尾和樹、武田喜久子、阿部和夫&齊子(宮城県石巻市)(2)、井上有希、新免貢(2)、統一マダン、辻本久夫、本田寿久(2)、ミヨシ共栄株式会社、嶋田博信&礼子(千葉県布良)(2)、高橋秀典、(株)大塚製薬工場、愛沢伸雄(千葉県館山市)、宮本博美、飯原洋子、久原満里子、佐々木美代子、小谷福哲&由喜枝(千葉県布良)、関西学院大学、津久井進、森一郎、宝塚栄光教会(3)、岩間洋&千恵子(3)、飛田雄一、大宮有博、本田清実(2)、山本陽子、岸田まさと、千田豊穂(宮城県石巻市光厳寺住職)、ミヨシ油脂株式会社、北村恭男、緒方眞喜代(熊本県相良)、小笠原貞夫、橋本成年、金澤和夫、武田喜久子、金栄(株式会社アル)、湯川胃腸病院、石井泰代、櫻井由里子、久保田弘人(熊本県吉市釜田醸造所)、萩本義郎、東原良学、神戸朝鮮高級学校、山崎製パン株式会社、栗原健、泉晴代、竹内喜子、木村ふみ子(宮城県石巻市)、渋木孝江、今井祝雄、関西大学、伊藤直樹&ヨシ子(茨城県日光市)、土手ゆき子、土手朋、千葉幸一(宮城県石巻市)(2)、前川弥&幸子(2)、高橋宏和、星野尚子(2)、みとキリスト教会、植松智明、庄司慈明(宮城県石巻市)、白方誠彌、永野真治、中山圭子、武田多美、貴千代子、平井一嘉、福寿恵美、公益財団法人神戸新聞厚生事業団、大島健二郎(4)、坂井純人、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、(株)竹中工務店、井本敦幸、玉の肌石鹼株式会社、村田義人、高祐二、新井真由美、第2回目神戸在住ウクライナ人の集い、徳留由美、相浦恵子、泉とも子、ミヨシ石鹼株式会社、日野謙一、楠元留美子、廣瀬素子、森祐理、大田正紀、芦名定道、樋口麻美

507,771円

2023年4月16日～7月15日

フードバンク関西、佐々木貴子、尾島淳義、水谷弥生から菓子、嶋田政雄からコーヒー詰め合わせ、山田彗子(宮城県石巻市)からたけのこご飯、阿部勝&昭子(宮城県石巻市)から茶飲料、馬部省一&智美から魚のアラ、(株)チュチュアンナから靴下、東垂水ルーテル教会から茶飲料、前川和弥&幸子から菓子詰め合わせ、鳥越肖男&光子(熊本県吉市)からあさひ温泉券、安正祐からジャージャー麺、海苔、小谷登志江(千葉県布良)から赤じそジュース、新堀隆義&美恵子から梅シロップ、黒川菊菜(千葉県布良)からバナナ、安房文化遺産フォーラムから菓子、愛沢伸雄(千葉県館山市)から書籍、菊地敬子(宮城県渡波)からクッショーン、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)からオロナミンC、本田敏子(宮城県石巻市)からわさびのり、遠藤トシ江(宮城県石巻市)から菓子、丹野恵子(宮城県石巻市)から海苔等。木村勝&木村ふみ子(宮城県石巻市)からたくさんの創作作品、武藤優子からマスク、長野晶朗からナッツ、梶原ミドリ(福岡県朝倉市松末)から高菜漬、梶原ミスミ(松末)かららしいだけ、樋口喜寿江、梶原征子(松末)からコーヒーなど、岩見照也(熊本県相良)から補植用苗、井出洋子(福岡県松末)からどうやき、山崎留実子から手作りのハガキと切手、小西淑子から切手、大島修&敏子から桃

本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日
午前10時～
神戸学生青年センター
本館1階

岩村義雄セミナー

毎月第4月曜日
午後6時半～
ミント神戸17階

編集後記

今後の活動を支える財政基盤の安定確保に関連してですが、現在、市民層の貯蓄高がかなり低くなっています。しかも、いろいろな縛りがあって自由に発言、行動することが困難になっているように思います。他団体との連携は現状維持でいいせつにすることが財政安定にもつながります。被災地からの声に応える仕方で活動を特化することがゆくゆくは寄与するでしょう。

理事 新免貢